

## ものの「見え方」「考え方」の違いを楽しむ

教頭 石田 雅人

先日行われた前期課程のスキー教室では、天候に恵まれ、どの子供も大自然の中で行うウィンタースポーツの楽しさを感じることができました。3人の外部講師の先生方を手本に、颯爽と滑る上級班の子供たち。久しぶりのスキーに不安を感じながら滑り始め、徐々に自信を取り戻した子供たち。そして、初めてスキーを体験した子供たち。技能には差がありますが、子供たちの溢れる笑顔から一人一人が充実した時間を過ごせたことが伝わってきました。

## リフトに揺られて眺める景色

6班の子供たちと共に活動していた私は、下学年の子供たちを中心に、一緒にリフトやゴンドラに乗る機会がありました。

石田：（搬器に揺られながら）気持ちいいね～。

I児：先生、あんなところにティラノサウルスおるね！

石田：どこどこ？（ゲレンデで滑っている人を探す）

I児：（空の雲を指しながら）あれが頭でしょ。ほら、目もあるよ。逆さまになっているけど、走っているね。さっきは、トリケラトプスもいたよ。

空だったのか！と笑い合いながら、私も必死にティラノサウルスを探しましたが、正直なところ、見付けられませんでした。その後にもいろんな恐竜の名前が登場し、子供の発想の豊かさに大変驚かされました。同じものを見付けられないことを嘆くよりも、嬉しそうに空を眺める子供の横顔を見守れることが幸せだなと感じた瞬間でした。

後期課程の子供たちは、一人一人が自分の目当てをもち学習や運動の課題に向き合っています。しかし、時には心が不安定になり、悩みや心配ごとで押しつぶされそうになってしまうこともあるようですが、これは思春期の子供たちにとって、特別なことではありません。

## 私のおすすめ

そんなとき、自分が直接的に元気のない相手を勇気付けるよりも、自分に力を与えてくれた言葉（本）の力を借りることの方が、はるかに大きな効果が得られると感じています。何よりも、心が温かくなることが一番です。「そんな考え方もあるよな」「今の自分にできることは…」等、いろいろな考え方に触れることもできます。読み終えた本を手に、感想を話し始める子供の目には、いつものエネルギーが湧き上がってきていました。「次のおすすめの本ありますか？」と聞かれたときにすぐに渡せるように、準備しておきたいと思います。

まだまだ寒さは続きます。一日でも多く、冬の自然に親しむ機会をもったり、暖かい部屋でじっくり本を読んだりして、春に花を咲かせるエネルギーを蓄えてほしいと願っています。



## 2月の行事予定



3日（火）ごみ拾いボランティア	13日（金）地域のよさ体験（前期）
4日（水）避難訓練（地震・火災）	16日（月）アルミ缶回収
5日（木）私立高校一般入試	保護者会（9年）
9日（月）新入生半日入学	17日（火）なわとび大会（前期）
県立高校推薦入試	クラブ
10日（火）集金振替日	20日（金）委員会
11日（水）県小中高校生書初大会	24日（火）期末考査（7、8年）〈～26日〉
12日（水）期末考査（9年）〈～13日〉	27日（金）誕生会食



- ・全国小学校バドミントン選手権大会 男子団体 準優勝 InokuchiBS
- ・上市オープン2025 女子シングルス 優勝 InokuchiBS
- ・第50回富山県学生競書展 特別賞

### ★校内書初大会

金賞	1年	銀賞	1年
	2年		2年
	3年		3年
	4年		4年
	5年 県大会出場		5年
	6年 県大会出場		6年
	7年 県大会出場		7年
	8年		8年
	9年		9年

## 書初大会

1月8日(木)に、校内書初大会を行いました。1・2年生はクレパス、3～9年生は毛筆で、一筆一筆に心を込め、「全集中」で文字と向き合いながら書き上げました。力強く、思いの込もった作品がそろいました。



## スキー教室

1月16日(金)に前期課程は、イオックス・アローザでスキー教室を行いました。当日は天候にも恵まれ、絶好のスキー日和になりました。子供たちは練習を重ねるたびにどんどん上達し、「楽しかった!」「もっと滑りたい!」という声がたくさん聞かれました。また、指導員の先生方にも丁寧に教えていただき、子供たちにとって貴重な経験になりました。ご家庭でも準備等のご協力をいただき、ありがとうございました。



## 「新年の抱負」(7年生)

7年生は、冬休み中に新年の抱負を書いて始業式に持ってきました。今年頑張りたいことをたくさんの四字熟語の中から探し出し、書にしたためました。どの抱負にもそれぞれの強い思いが表れています。一年間、新年の抱負を大切にして生活してほしいものです。

3学期は、一年を締めくくるまとめの学期です。1月30日には、前期子供会役員選挙が予定されています。2月中旬からは、予餞会や卒業式の準備、委員会の引継ぎ等、自分たちが主体的に動いていかねばなりません。今まで経験したことを糧に、次のステージに向けて新たな挑戦をしてほしいと願っています。

